

## 要 旨

### 試験委託者

環境庁

### 表 題

*p*-クロロトルエンのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖阻害試験

### 試験番号

9 B 4 8 8 G

### 試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドラインNo. 211「オオミジンコ繁殖試験」(1998年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： *p*-クロロトルエン
- 2) 暴露方式： 半止水式 (24時間毎に試験液の全量を交換)，水面をテフロンシートで被覆
- 3) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間： 21日間
- 5) 試験濃度 (設定値) :  
対照区，助剤対照区，0.060，0.160，0.420，1.10，3.00mg/L  
公比：2.7  
助剤濃度一定：60.0mg/L (HCO-60 および ジメチルホルムアミド 使用)
- 6) 試験液量： 80 mL／容器
- 7) 連数： 10容器／濃度区
- 8) 供試生物数：10頭／濃度区 (1頭／容器)
- 9) 試験温度： 20±1℃
- 10) 照明： 16時間明／8時間暗
- 11) 分析法： HPLC法

## 結 果

### 1) 試験液中の被験物質濃度

被験物質の測定濃度が設定値の±20%を超えたものがあったため、各影響濃度の算出には測定値（時間加重平均値）を採用した。

### 2) 21 日間暴露の各影響濃度結果を以下に示す。

親ミジンコの半数致死濃度 (LC50) : 1.17 mg/L

(95%信頼限界 : 0.322~2.31 mg/L)

50% 繁殖阻害濃度 (EC50) : 1.62 mg/L

(95%信頼限界 : 算出不可)

最大無作用濃度 (NOEC) : 0.322 mg/L

最小作用濃度 (LOEC) : 0.853 mg/L